

Quick調査レポート「患者からの相談に関する調査」

Topics

- ✓ 一般内科診療において、患者の意思で用いる健康の維持や増進を目的とする製品・サービスに関して受けた相談としては、栄養や食事に関する内容が上位を占めた
- ✓ OTCは3割、漢方薬（医師の処方以外）は2割にとどまり、使用状況把握の不十分さが懸念される
- ✓ 患者によるOTC・サプリメント・ビタミン剤などの使用について、多額の費用をかける患者に対する憂慮の声や、相談・質問に対する困惑の声が多く、医師も対応に苦慮している実情がうかがえた

調査背景・目的

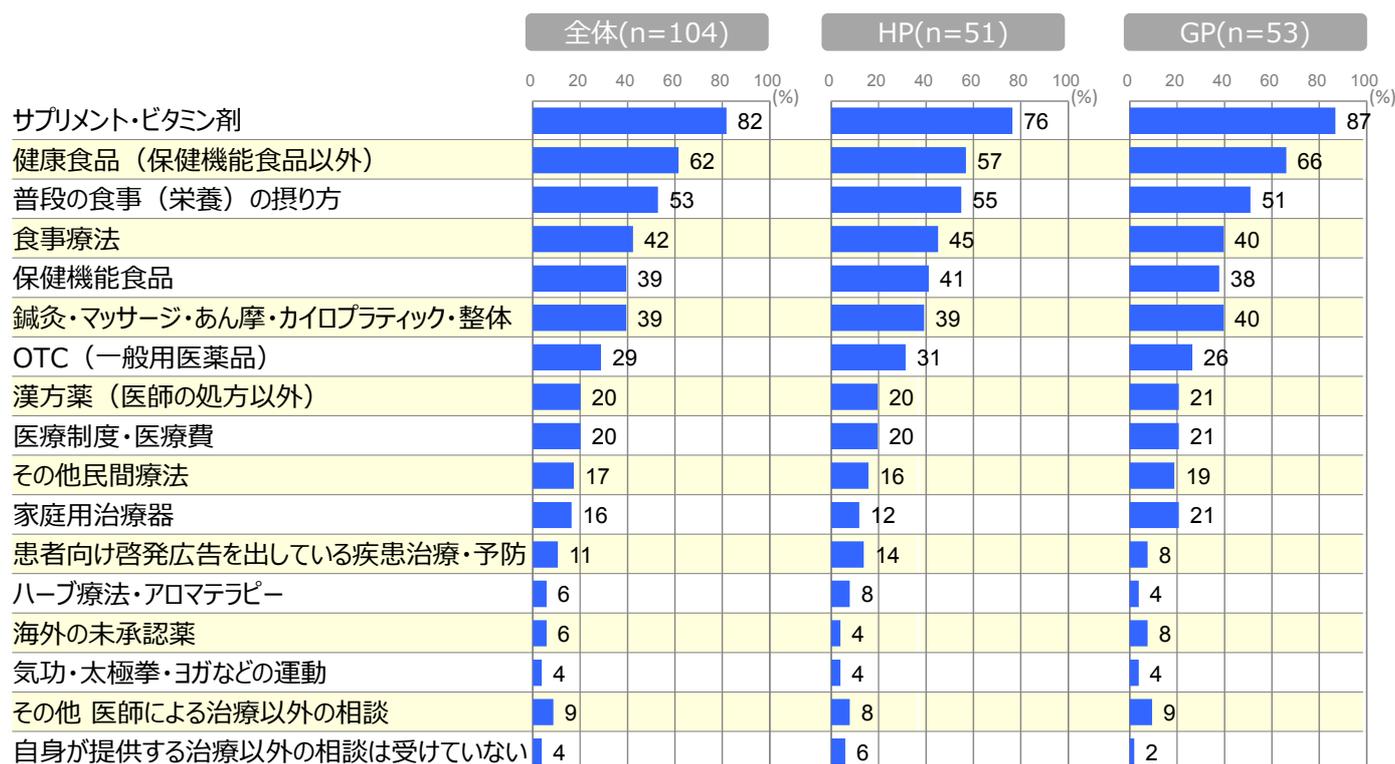
- ✓ 現在、健康の維持や増進を目的とする製品やサービスは数多く存在しており、医師の治療と並行して導入する患者は多い。しかし、治療に悪影響を及ぼしかねないものもあり、医師と患者との間で情報が共有されることが望ましい。
- ✓ 本調査では、医師の治療以外に患者が使用する健康のための製品やサービスについて、医師による把握状況と、課題について確認する。

調査概要

調査方法：インターネット調査 *クイックサーベイ 有効回答：104サンプル
 調査地域：全国 調査期間：2015年10月21日～10月22日
 調査対象：一般内科 調査主体：株式会社アンテリオ Quick Survey室

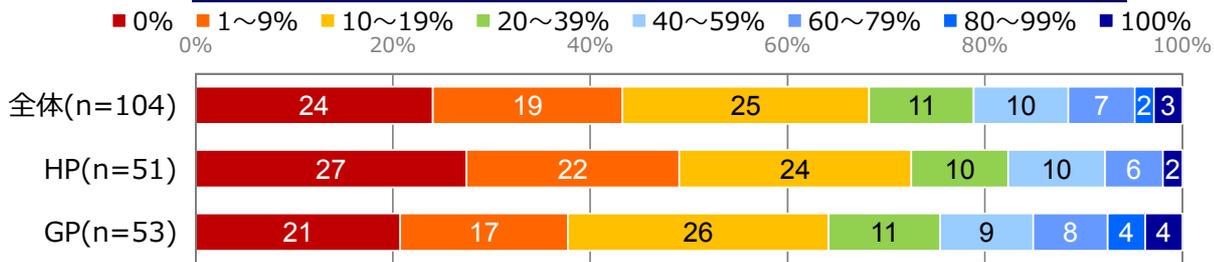
調査結果

【最近1年間】診療している患者やその家族から受けた相談や質問（複数回答可）

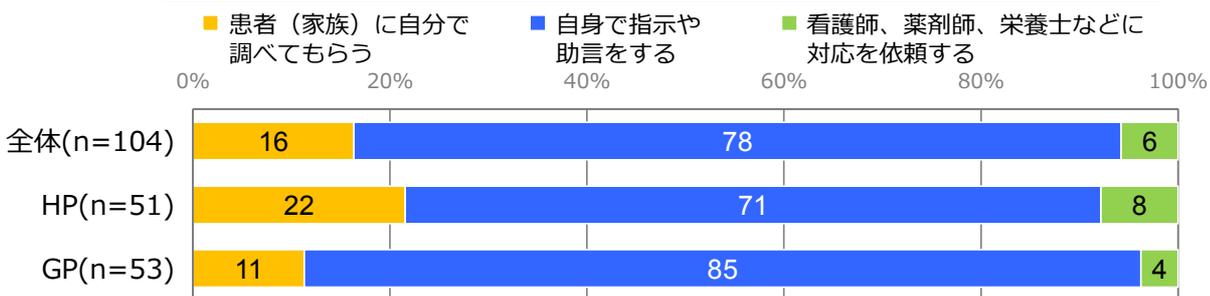


患者のOTC・サプリメント・ビタミン剤などの摂取について

診療患者のうち、医師から摂取状況を確認している患者割合



患者から摂取について相談を受けた場合の対応方針（単一回答）



印象に残ったケースや課題を感じたケースなど（自由回答）

患者が多額の費用をかけている（HP：7件 GP：8件）

- 効果はある程度期待できるものの非常に高いサプリメントがあるが、価格の高さに効果の信憑性を重ね合わせている患者が少なからずいる(HP)
- いかにも騙されているものを訪問販売にて購入している(HP)
- 医療費は高いと言うが、これらには多額のお金を使う(GP)
- 知人に勧められて高い漢方薬を服用(GP)

相談への回答や説得に苦慮する（HP：7件 GP：8件）

- ◆ 摂取している製品の詳細が不明
 - 異常があったときは医師に相談などと記載しているが、一切の情報がなく、対応法もわからない(HP)
 - 商品名のみではアドバイスできないケースが多い(GP)
- ◆ 飲み合わせ・選択
 - 飲み合わせを相談されることが多い(HP)
 - 複数使用しており、優先順位付けを求められるとき(GP)
- ◆ 処方薬と同成分
 - DHA/EPAは、医薬品もあると説明して処方(HP)
 - 処方薬と同じような成分が含有されているものについて、処方薬と効き目が違うと言われた(GP)
- ◆ 患者の説得が困難
 - 精神的に依存していて、無駄だと説明しても納得されない場合もある(GP)

患者の情報・知識に問題がある（HP：3件 GP：3件）

- サプリメント類などに対する知識は、一般の患者では非常に低いと感じている(HP)
- 患者さんの誤った知識を正すことができないことがある(GP)
- 宣伝を真に受けて、過剰な期待を抱いていることが多い(GP)

その他（HP：5件 GP：2件）

- 薬だと思っていないので、なかなか伝えてくれないことが多い(HP)
- サプリは種類や量が増える傾向がある(HP)

使用している患者が体調や数値に異変を生じたケースがある（HP：9件 GP：4件）

特になし・問題なし（HP：23件 GP：28件）